

## 目次

2	目次
3	ペンと劇場
4-5	夏休みスペシャルプロジェクト 子どものためのオペラ&バレエ
6	2023年度フェニーチェ堺主な公演ラインナップ
7-10	公演情報
11	堺市文化振興財団の取り組み ほか
12-13	地域のイベント情報ほか
14-15	ふれる堺

## 表紙について

1933年2月1日生まれ。今年で90歳の渡辺貞夫は、日本のジャズ史を語るうえで避けては通れないキーパーソンです。18歳で上京して演奏活動を始め、2年後にジャズピアニスト秋吉敏子が結成したコーギー・カルテットに参加。当時の日本で好まれていた軽快な「スウィング・ジャズ」ではなく、本場アメリカで主流となっていた技巧と即興演奏を重視する「モダン・ジャズ」を演奏して名を上げます。

1962年、先に渡米していた秋吉敏子に推されるかたちでバークリー音楽院（現バークリー音楽大学）に奨学生として入学（秋吉に続き日本人として2人目）し、本格的にジャズの理論を学びます。アメリカでの音楽活動のあと帰国し、のちにフュージョンと呼ばれることになる新しいジャンルで人気を不動のものとししました。自身のルーツであるビバップ（1940年代に成立したとされるジャズの一形態）にロックやボサノバを取り入れた音楽性もさることながら、アメリカから持ち帰った音楽理論を数多くの若手プレイヤーに文字通り教え込み、自らのバンドのメンバーとして積極的に起用することで、ジャズ界に大きな影響を与えていきました。フェニーチェ堺でも公演を行ったピアニスト山下洋輔、トランペッター日野皓正、ギタリスト渡辺香津美らも渡辺貞夫から薫陶を受けたジャズミュージシャンです。

公演情報で「主催：フェニーチェ堺」と記載されているものは、フェニーチェ堺の指定管理者である公益財団法人堺市文化振興財団が開催する公演です。



## 普遍の芸術

芥川賞作家 玄月

NISSAY OPERA 2022「セビリアの理髪師」

2022年12月3日公演

五十数年しか生きていないが、この百年ほどで世の中がすっかり変わったことは知っている。映画もレコードもなかった時代は、芝居や音楽はライブでしか楽しめなかった。人を魅了する生の演技や生演奏を、人類は長い長い年月——原始的な時代を含めると何万年も——をかけて磨きあげてきたのだ。

そんなことを、フェニーチェ堺で「セビリアの理髪師」を観ながら考えていた。初のオペラ観劇である。

字幕付きとはいえ、イタリア語で演じられる、大昔のヨーロッパが舞台の芝居を、退屈せずに観ていられるか？

観ていられた。YouTubeで予習はしたが、想像していた以上に圧倒された。二千席もあるホール中に、生の歌声が響き渡る。信じられないようなビブラートとともに。人間の歌声がオーケストラによる演奏と一体となって、耳に、胸に、直に届いて、震わせる。テレビやYouTubeでは決して得られない体験。

私は、オーケストラピットというものを初めて見た。合理的だと思いつつ同時に、苦肉の策として編み出されたのではないかと思った。舞台の邪魔になるなら、半地下に埋めてしまえと。すべては、観客に最高の舞台を魅せるために。

フェニーチェ堺の大ホールは、私がかつて見学したことのあるバリのオペラ座に似た様式で、こんな壮麗なホールを日本で他に見たことがない。箱モノ行政はなにかと批判されるが、フェニーチェ堺があるから、堺市で本物のオペラが観られるのだ。芸術は、実際に体験しなければ、なんにもわからない。

私はまめに芝居を観るほうではなく、誘われたりチケットをいただいたりして、やっと劇場に足を運ぶという程度。唯一、文楽は定期的に観てきた。

文楽は、一体の人形を三人がかりで操り、ひとりの太夫（複数の場合もある）が物語り、一棹の三味線（これも複数の場合があ

る）が伴奏するという、風変わりな芝居である。一見、オペラとの共通点はない。

なのに、文楽を観劇しているときと、おなじような気持ちになったのだ。

オペラも文楽も数百年前に生まれた芝居であるのに、目の前で繰り広げられるのは、恋愛、義理、人情、裏切り、嫉妬、といった人間ドラマである。時代を超えて普遍的であるから、我々の心に届く。

そして、オペラと同じく文楽も、すべてが音楽で成り立っている。太夫は、小説でいう地の文とセリフをひとりで語る、つまりひとりで何役もこなす。呻るような独特の節回しは、名人と言われる人ほどダミ声だったりして、あらゆる面でオペラの歌唱と対極にあっても、私を魅了する理由は同じ。人類が長い年月をかけて磨きあげてきた、普遍の芸術だからだ。

ところで、文楽の太夫の語りは、日本語なのに古くてあまり聴き取れない。よって、字幕がある。オペラの歌を、現代のイタリア人は普通に聴き取れるのだろうか。イタリア人に聞いてみたいものだ。



### 異物

玄月 作 講談社 ※電子書籍  
好評発売中

自己存在を安穩と肯定できぬ者のあまりにも危険な焦燥と破壊。かつて住民の半数が朝鮮人だった町。そこで育った者と、新たに半島から移り住む者とのイントレランスな状況から「事件」は起こった。謎を追い凄絶に疾走する傑作長編。

玄月（げん・げつ） 1965年大阪生まれ。大阪市立南高校卒。2000年「藤の棲みか」で第122回芥川賞を受賞。主な著書「悪い噂」「山田太郎と申します」「異物」「眷族」「めぐるめく部屋」「狂響記」など。2011年より大阪・心斎橋で「文学カフェバー・リズール」を主宰し、2020年より大阪芸術大学教授を務める。

●文学カフェ・バー・リズール● リズールは、フランス語で、精読者・読書人という意味。壁一面に本が並んだ隠れ家的空間で、お酒やソフトドリンクとともに読書や会話を楽しめるスペースとなっており、文学・音楽イベント頻繁にも行われています。〒542-0081 大阪市中央区南船場4-11-9 コムズビルB1F 06-6282-7260 定休日/月・火・水曜日



# 夏休みスペシャルプロジェクト



## 子どものためのオペラ&バレエ



夏は子どもたちの季節！ 待ちに待った夏休みは、みずみずしい心が芸術や文化に触れるのに、うってつけのシーズン。フェニーチェ堺では子どもたちが舞台芸術という新しい世界の扉を開き、驚きに満ちた発見や他では味わえないワクワクを体験できる特別なプロジェクトをご用意します。子どものための鑑賞プログラムやワークショップと一緒に参加して、小さな才能たちがまだ知らない自分と出会い、大きく成長する瞬間に立ち会いませんか？

## 子どものためのオペラ「まほうのふえ」～パミーナ姫のたんじょうび～ 8月5日(土) ①13:00 ②17:00 大ホール



明日はパミーナ姫の誕生日。楽しみなあまり寝つけないパミーナ姫がようやくとうとうと始めると、不思議なことが起こります。これは夢？ それとも…？ モーツァルト作曲のオペラ「魔笛」をベースに、おかしなキャラクターや素敵なメロディーが次々に登場する、遊び心いっぱいの物語。舞台を飛び出して客席にやってくる登場人物や、子どもたちに話しかけて一緒に音楽を奏でる指揮者、何より子どもたちの笑い声と楽し気なツッコミが飛び交う1時間！ 世界に熱望される気鋭の演出家・菅尾 友と活躍著しい指揮者・瀬山智博が子どもへの思いをたっぷり込め、オーディションで選ばれた7人の若手歌手によるフレッシュな歌唱にも注目の、いま子どもたちに見てほしいオペラです。



演出家 菅尾 友



指揮者 瀬山智博

チケット発売日:4月15日(土)  
子ども(3歳~小学生)1,500円 中学生2,500円 大人5,000円 大人・子どもペア5,500円  
※2歳以下入場不可 主催:フェニーチェ堺



## 「まほうのふえ」をもっと楽しむワークショップ

※申込方法:フェニーチェ堺ホームページ申込フォームより

ワークショップの詳細はこちらをご覧ください。



### 舞台の小道具作りに挑戦!

5月21日(日) ①13:00~14:40 ②15:00~16:40

まるで小さな職業体験!? パミーナ姫の誕生日の飾り付けとして、実際に本番の舞台で使われる小道具「プレゼントボックス」をみんなで作ってみよう!

会場:ガレリア 対象:子ども(3歳~小学生) 定員:各回20名  
参加費:無料 申込期間:4月1日~5月14日

### 大人のためのオペラ予習講座

5月31日(水) ①10:30 ②13:30

子どもたちと一緒に本作を観たいけれど、「あれなに?」「どうして?」のギモンに答えてあげられるかちょっと心配な保護者向けに、事前にオペラや作品への理解を深められるレクチャー講座を開催します。指揮者による解説&ピアノの弾き歌いで、オペラの魅力が丸わかり! 大人の社会見学・教養講座にもおすすめ!

会場:大スタジオ 講師:瀬山智博(指揮者) 対象:大人 参加費:1,000円  
申込期間:4月15日~5月17日

### パパゲーノが吹いている“ふえ”を作ってみよう 6月4日(日) 12:30~14:40

まほうのふえに登場する陽気なお調子者パパゲーノが持ち歩き、劇中でも吹かれる鳥笛「バンフルート」を作るワークショップ。工作の楽しさに加え、音の鳴る仕組みも学べます。作ったバンフルートはお持ち帰りください。

会場:文化交流室 講師:今井 勉(バンフルート演奏家) 対象:子ども(3歳~小学生) 定員:20名 参加費:1,500円 申込期間:4月21日~5月17日

## チケット購入者特典(先着順)

※お申し込みいただけるのは1つまで。定員に達したら終了  
※申込方法:フェニーチェ堺ホームページ申込フォームより

### 開演間近! 舞台裏潜入ツアー for kids

8月3日(木) 15:00~16:00

開演2日前の大ホールや稽古場に潜入! みんなでオペラ制作の「いろは」を聞いたあと、普段は入れない場所でセットや小道具、衣裳などを見学しよう。写真撮影OKなので、夏休みの課題にも♪

会場:大スタジオ、大ホール 対象:チケット購入者(小学3~6年生)  
定員:60名(保護者同伴) 参加費:無料 申込期間:6月1日より先着順

### 知っておきたい! 「まほうのふえ」リアル予告編

for kids 8月3日(木) 13:00~14:00

あらすじや登場人物など、先を知っておくともっと楽しめるお話が聞ける“リアル予告編”! カバーキャストも登場して、本物の歌を披露してくれます♪本番前に詳しくなって、作品を3倍楽しもう!

会場:小ホール 対象:チケット購入者(小学生・中学生)  
定員:40名(保護者同伴) 参加費:無料 申込期間:6月1日より先着順

### 大ホールでピアニスト体験 for kids 8月28日(月) 11:00~20:00

本番の興奮がまだ残る大ホールで、次はあなたがピアニスト体験! ひとり15分の持ち時間を使ってステージ上でピアノを弾いたり、ピアニストになりきって撮影することができるよ♪

会場:大ホール 対象:チケット購入者(小学生・中学生・高校生) 定員:30名(保護者同伴) 参加費:無料 申込期間:6月1日より先着順

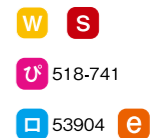
## 東京バレエ団 子どものためのバレエ「ドン・キホーテの夢」

8月14日(月) 開演15:00 大ホール

スペインを舞台に繰り広げられる愛と冒険の物語。華やかなバレエに、分かりやすいお話付き。4歳から入場でき、初めてのバレエ鑑賞にもピッタリです!  
キトリ: 浦田美紀 バジル: 池本祥真

関連ワークショップ「はじめてのバレエ体験レッスン」6月24日(土) 対象:4歳~小学生のバレエ未経験者 詳細はホームページにて

チケット発売日:5月20日(土) 一般4,000円 4歳~中学生1,500円 ※3歳以下入場不可 主催:フェニーチェ堺



©Illustration Satoru Makimura



2023年度  
フェニーチェ堺  
主な公演  
ラインナップ

ジャズのレジェンド渡辺貞夫や開館5年目の節目に制作する「子どものためのオペラ まほうのふえ」、  
才気あふれる若手指揮者ラハフ・シャニとイスラエル・フィルハーモニー管弦楽団、  
いま注目のピアニスト反田恭平が結成したオーケストラ「JNO」など、魅力的な主催/共催公演をゾクゾク開催。

- |                 |  |           |   |
|-----------------|--|-----------|---|
| 5月13日(土)        | 柳家喬太郎独演会 (SOLD OUT) ★  | 10月8日(日)  | 東京混声合唱団 フェニーチェ堺特別公演   |
| 5月13日(土)・14日(日) | 大黒摩季 ●   | 10月18日(水) | ニューニュー ピアノ・リサイタル  |
| 6月4日(日)         | ウィーン少年合唱団 ●  | 10月28日(土) | 川口成彦フォルテピアノ<br>リサイタルシリーズ2023 第2回 ★                              |
| 6月17日(土)        | 坂本真綾 ●   | 10月28日(土) | ディズニー・オン・クラシック ●  |
| 6月24日(土)        | 大阪交響楽団<br>フェニーチェ堺 名曲シリーズVol.1<br>(指揮:山下一史 ヴァイオリン:南 紫音)               | 11月13日(月) | 桂米團治 独演会 ★  |
| 6月24日(土)        | 川口成彦フォルテピアノ<br>リサイタルシリーズ2023 第1回<br>「J.S.バッハと息子たちの饗宴」★               | 11月18日(土) | イスラエル・フィルハーモニー管弦楽団<br>(指揮:ラハフ・シャニ ピアノ:小林愛実)                     |
| 6月25日(日)        | Alice ●  | 11月30日(木) | ベルリン・フィル八重奏団  |
| 7月2日(日)         | 渡辺貞夫グループ2023   | 12月13日(水) | 桂吉弥 独演会 ★   |
| 7月13日(木)        | カニサレス ギター・コンサート ★  | 12月15日(金) | フィルハーモニクス with 中谷美紀   |
| 7月21日(金)・22日(土) | コブクロ ●   | 12月16日(土) | 川口成彦フォルテピアノ<br>リサイタルシリーズ2023 第3回 ★                              |
| 8月5日(土)         | 子どものためのオペラ「まほうのふえ」<br>～パミーナ姫のたんじょうび～<br>(演出:菅尾 友 指揮:瀬山智博 管弦楽:大阪交響楽団) | 1月13日(土)  | 桂かい枝 独演会 ★  |
| 8月14(月)         | 子どものためのバレエ<br>「ドン・キホーテの夢」(東京バレエ団)                                    | 2月3日(土)   | ミュージック・イン・ザ・ダーク ●   |
| 9月9日(土)         | 第3回知的・発達障がい児(者)にむけての<br>劇場体験プログラム<br>劇場って楽しい!! 2023 in フェニーチェ堺       | 2月10日(土)  | 春風亭一之輔独演会 ★   |
| 9月16日(土)        | 幻灯劇場 音楽劇「鬱憤」 ■   | 2月14日(水)  | 反田恭平&ジャパン・ナショナル・オーケストラ  |
| 9月28日(木)        | ワカテdeワカル フェニーチェ文楽 vol.4 ★  | 3月10日(日)  | The Real Chopin×18世紀オーケストラ<br>(ピアノ:ユリアンナ・アプターエフ/トマシュ・リツテル/川口成彦) |
|                 |  | 3月17日(日)  | 桂宮治 独演会 ★   |

★=小ホール ■=大スタジオ ●=共催

※2023年4月4日現在の予定です。やむを得ない理由により、公演内容が変更となる場合があります。  
※最新情報はフェニーチェ堺ホームページ等でご確認ください。

CLASSIC  
大ホール

ウィーン少年合唱団

6月4日(日) 開演14:00

“天使の歌声”4年ぶり待望の来日公演!  
小さなプロフェッショナルである彼らの公演は  
クラシックだけでなく、映画音楽、ポップス、  
日本の歌などを清らかな歌声で披露、  
観客を魅了し続けている。  
2023年はハイドン組が来日。

出演:ウィーン少年合唱団  
ジミー・チャン(指揮・ピアノ)



ジミー・チャン  
©www.Lukasbeck.com



ウィーン少年合唱団

好評発売中 S席6,500円 A席5,000円 B席3,000円

主催:ABCテレビ 共催:フェニーチェ堺 後援:オーストリア大使館/オーストリア政府観光局



CLASSIC  
大ホール

大阪交響楽団 フェニーチェ堺 名曲シリーズ Vo.1

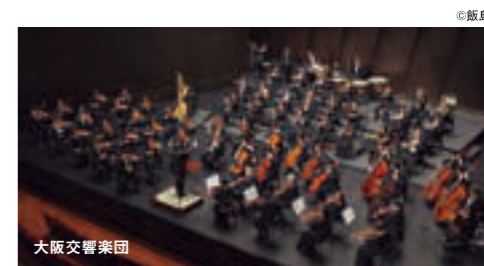
6月24日(土) 開演14:00

クラシックの名曲シリーズが始動!  
記念すべき第1回は、ダイナミックで荘厳なフランス音楽をお贈りします。

<プログラム>

サン＝サーンス:ヴァイオリン協奏曲 第3番 口短調 作品61  
ベルリオーズ:幻想交響曲 作品14

出演:山下一史(大阪交響楽団常任指揮者)、南 紫音(ヴァイオリン)、  
大阪交響楽団(管弦楽)



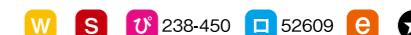
大阪交響楽団

指揮  
山下一史  
©ai ueda

ヴァイオリン  
南 紫音  
©Shuichi Tsunoda

好評発売中 S席3,300円 A席2,800円 学生席1,000円

主催:公益社団法人 大阪交響楽団/フェニーチェ堺 特別協賛:日本ノボパン工業株式会社



JAZZ  
大ホール

渡辺貞夫グループ2023

7月2日(日) 開演16:00

生ける伝説がいよいよフェニーチェ堺へ!  
ジャズの枠に留まらない独自のスタイルで世界を舞台に活躍する  
サクソフ奏者渡辺貞夫が、トッププレイヤーを率いてバンド編成でのライブを披露!

出演:渡辺貞夫(as)、小野塚 晃(p)、養父 貴(g)、須川崇志(b)、  
竹村一哲(dr)、ンジャセ・ニャン(perc)



好評発売中

S席5,800円(残席わずか) A席5,000円(残席わずか) B席4,500円

主催:フェニーチェ堺



W S U R E ★ については裏表紙をご覧ください

●最新の公演情報はフェニーチェ堺ホームページをご覧ください ●都合により、公演内容が変更になる場合がございます ●掲載情報は4月4日現在

チケットを購入する





CLASSIC  
小ホール

## 川口成彦フォルテピアノリサイタルシリーズ2023 ～Colorful～ featuring Bach and Chopin

【第1回】6月24日(土) 開演15:00

2023年度のリサイタルシリーズは J.S.バッハとショパンにフューチャーして“colorful”な公演を目指して全3回行います。第1回ではバッハ、第3回ではショパンをテーマに面白い公演を考えてみました。そして第2回は2人を主役にしながら、まさに“colorful”な「変奏曲」の世界をお届けします。第1回は「音楽の父」とも言われる偉大なJ.S.バッハ(1685-1750)の作品をお楽しみ頂きますが、演奏会では彼の4人の素敵な息子たちも賑やかに集結します。お父さん、そして素晴らしい音楽家の息子たちはそれぞれ大変個性が豊かで、“colorful”なバッハファミリーの音楽を是非お楽しみ頂けたらと思っています。そして使用する楽器はJ.S.バッハが弾いたと言われるピアノであるジルバーマンの復元楽器、そしてバッハの息子たちの時代に華を添えたタンゲンテンフリーゲル(木片が弦を打つピアノ)が登場します。久保田彰さんが復元した18世紀の2台のピアノの色とりどりの音色にもご期待ください!!

——川口成彦



©Shin Matsumoto



タンゲンテンフリーゲル  
Tangentenflügel  
シュレーター(Ch.G.Schröter)  
考案のアクションによる復元楽器  
久保田 彰製作 2017年



ジルバーマン  
Gottfried Silbermann, Freiberg  
1746年

### 第1回「J.S.バッハと息子たちの饗宴」

【予定曲目】

- ・ J.C.F.バッハ 「ああ、お母さん聞いて」による変奏曲 ト長調 Wf 12-2
- ・ C.P.E.バッハ ヴェルテンベルク・ソナタ 第1番 イ短調 Wq. 49/1
- ・ J.S.バッハ イタリア協奏曲 ヘ長調 BWV971 ほか

第2回 10月28日(土) 「カラフルな変奏曲の世界」

第3回 12月16日(土) 「歌曲で辿るショパンへの旅路」

好評発売中 4,000円 主催:フェニーチェ堺

W S U 238-315 e ★

CLASSIC  
小ホール

## カニサレス ギター・コンサート

7月13日(木) 開演19:00

「カニサレスは驚異的なギタリストである」

——サー・サイモン・ラトル(元ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団首席指揮者兼芸術監督)

フラメンコの情熱とクラシックの叡智を兼ね備えた世界最高峰ギタリスト、カニサレス。ベルリン・フィルをはじめ世界中のオーケストラと共演するスペイン・ギターのカリスマが極上の音色でお届けする、最高クオリティのクラシック&フラメンコ。

出演:カニサレス(ギター・作曲)、ファン・カルロス・ゴメス(セカンド・ギター)

<演奏予定曲目>

ロドリゴ:『アランフェス協奏曲』より第2楽章アダージオ「アランフェス・マ・パンセ」(ギター・アレンジ)

グラナドス:『三角帽子』より「粉屋の踊り」

ファリャ:『12のスペイン舞曲』より「アンダルーサ」ほか

好評発売中 5,000円 主催:フェニーチェ堺

後援:スペイン大使館 Embajada de España、インスティトゥ・セルバンテス東京

W S U 237-349 53063 e ★



©Amancio Gullén

伝統芸能  
多目的室

## まずはここから! ひるらくご

【第1回】6月30日(金) 【第2回】7月21日(金) 【第3回】8月31日(木)

各回  
開演  
13:00

落語にあまりなじみがない方にごそ味わってほしい、上方落語の入門編。

3回来ても1回だけでも、落語のおもしろさが“きっと”“もっと”わかるように! 毎回落語2席とテーマトークをお届けします。

第1回「古典落語と新作落語」 出演:桂かい枝、笑福亭喬介 トークコーナー「噺家の修行」

長く伝えられてきた“古典落語”と現代的な“新作落語”を一席ずつ。あなたはどちらがお好みですか?

第2回「余芸の世界」 出演:林家染左、笑福亭生寿 トークコーナー「噺家の余芸～寄席の踊り」

本芸以外の特技“余芸”。バラエティに富むその世界を元学芸員とタカラヅカファンの落語家2人がご案内。

第3回「一門が違うと落語も変わる?」 出演:桂阿か枝、桂雀太 トークコーナー「一門ってなに?」

受け継がれてきたルート(=師弟や一門)が違うと、同じ演目でも落語が変わる!? 落語の“一門”の謎にせまる!

チケット発売日:第1回=好評発売中 第2回=5月13日(土) 第3回=6月10日(土)

1,500円 主催:フェニーチェ堺

W S ★

伝統芸能  
小ホール

## ワカテdeワカル フェニーチェ文楽 Vol.4

9月28日(木) 開演時間未定

桐竹勘十郎の発意・監修のもと、次代を担う若手が名作に挑戦。

フェニーチェ堺ならではの企画をお届けします。

予定演目:『傾城恋飛脚』新口村の段



豊竹靖太夫



鶴澤寛太郎



吉田襄紫郎

詳細は決まり次第ホームページにて発表 3,000円 主催:フェニーチェ堺 企画・協力:(一社)日本の伝統芸能

W S ★

POPS  
大ホール

## 大黒摩季

MAKI OHGURO 30th Anniversary Best Live Tour 2022-23

-SPARKLE- Final Season ~Non Stop! MEGA Hits Reve☆~

Powered by CHAMPAGNE COLLET

5月13日(土) 14日(日) 両日とも開演17:00

大黒摩季の活動30周年を記念するツアー。

好評発売中 8,900円 主催:キョードーアジア 共催:フェニーチェ堺 特別協賛:CHAMPAGNE COLLET

W S U 239-467 53161 e ★

POPS  
大ホール

## コブクロ KOBUKURO LIVE TOUR 2023

7月21日(金) 開演18:30 22日(土) 開演17:00

全国ツアーで堺に凱旋!

詳細は決まり次第ホームページにて発表 9,200円 共催:フェニーチェ堺

★



大スタジオ

親子でつくろう ひょうげんパレット フェニーチェダンス企画2023

5月3日(水・祝) 開始11:00

春のあたたかい日に、フェニーチェ堺でダンスを楽しみませんか？  
大人から子どもまで、好きな色で絵を描くように、身体を使って自由に表現してみよう。

講師:原田純子(関西大学教授) アシスタント:関西大学人間健康学部生

対象:大人、子ども



申込受付中 大人(高校生以上)1,200円 子ども(4歳~中学生)500円 大人・子どもペア1,500円 ※3歳以下無料(保護者同伴) 主催:フェニーチェ堺

小ホール

音楽のあるひととき Vol.12  
「承継と継承～紡がれる者～」

5月18日(木) 開演14:00

大阪交響楽団のメンバーとお届けする1時間の気軽なミニコンサート。  
今回はブラームス「クラリネット五重奏曲 口短調 作品115」と、  
山田耕祐「弦楽四重奏曲 第二番 ト長調」を演奏します。



好評発売中 1,000円 主催:フェニーチェ堺、公益財団法人 大阪交響楽団

大ホール

Dance Power 2023 in フェニーチェ堺

8月26日(土) 開演時間未定

主に堺市内の高校ダンス部によるダンスイベント！  
今年の夏も、ダンスに懸ける高校生ダンサーたちが集結。  
熱い思いが詰まったパワーあふれる  
パフォーマンスをお楽しみください。



2020年上演「Dance Power」

詳細は決まり次第ホームページにて発表 無料 主催:フェニーチェ堺

大スタジオ

幻灯劇場 音楽劇「鬱憤」

9月16日(土) 開演時間 ①13:00 ②17:00

幻灯劇場の話題公演がフェニーチェ堺に登場！  
ある日、一緒に暮らしている人が、「これからは糸電話で話そう」と  
言い出した。同じ家に住んでいるのに私達の距離はどんどん  
離れていった。この数年、溜まりに溜まった鬱憤の話。

作・演出:藤井颯太郎 作曲・振付:本城祐哉



関連ワークショップ「登場! 人物! 全員! 鬱憤! 講座」《全2回》8月20日(日)・9月2日(土) 詳細はホームページにて

詳細は決まり次第ホームページにて発表 一般3,000円 高校生以下1,000円 主催:フェニーチェ堺



W S U e ★ については裏表紙をご覧ください

●最新の公演情報はフェニーチェ堺ホームページをご覧ください ●都合により、公演内容が変更になる場合がございます ●掲載情報は4月4日現在

チケットを購入する



小ホール Challenging your dreams ~フェニーチェ堺は未来の音楽家を応援しています~

①7月24日(月) ②7月25日(火) 10:00~21:00(55分/1枠)

フェニーチェ堺の小ホールを1時間単位で貸し切って、  
ピアノなどのアコースティック楽器の練習や審査用動画の撮影ができます。  
夢に向かって挑戦する未来の音楽家にとって、コンクールに向けて本番に近い環境で  
練習することや、オーディション用に質の良い審査動画を準備することはとても大切です。  
ぜひご利用ください。 ※目的外の利用はできません。 ※4歳~中学生は保護者同伴必須、3歳以下の入場は不可。



電話申込開始日(072-223-1000):①6月24日(土)10:00~ ②6月25日(日)10:00~ 先着順 3,500円(1枠) ※当日お支払い 主催:フェニーチェ堺

大ホール 知的・発達障がい児(者)にむけての劇場体験プログラム

「劇場って楽しい!!」in フェニーチェ堺《楽しいミュージックシアター》~歌と楽器でワクワクしよう!~

9月9日(土) 14:00

知的・発達障がい児(者)が街(地域)の劇場へ鑑賞者として参加できる機会を増やし、芸術や文化に触れる機会を増やすことを  
目的としています。音の大きさや響き、演出効果による照明の明暗、鑑賞者としてのルールなどを、鑑賞しながら学び、  
「劇場」を体験する学習プログラムです。 ※対象:知的・発達障がい児(者)、支援者、ご家族



詳細が決まり次第ホームページにて発表 自由席 入場無料(要事前申込) 主催:フェニーチェ堺 企画・コーディネート:国際障害者交流センタービッグ・アイ

堺市文化振興財団の地域に根ざした取り組み

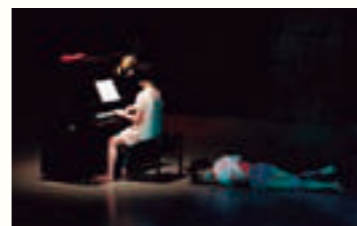
堺市文化振興財団では、堺市内の小中学校・こども園、子育て広場、病院・福祉施設、子ども食堂など地域の様々な場所で、コンサートやワークショップを実施  
しています。クラシック音楽、オペラ、絵画、造形、能楽、ダンス、演劇などの様々な芸術ジャンルを取り扱い、経験豊富なアーティストと連携して、受け入れ先と  
調整しながら企画を行います。これらの事業は、〈堺市新進アーティストバンク〉に登録する若手アーティストの活躍の場でもあります。財団では登録アーティスト  
に向けた「実践研修プログラム」を実施するなど、地域社会に貢献できる優れたアーティストを堺市から輩出することを目的とした人材育成に取り組んでいます。

実施報告

コンテンポラリーダンス公演 康本雅子「子ら子ら」/ダンスワークショップ

2月12日(日)、全国各地で活躍するダンサー・振付家の康本雅子さんをお招きして、代表作「子ら子ら」を上演し  
ました。親子の関係をめぐる叫び・複雑な感情を表現した作品で、康本さんと共演の小倉笑さんが繰り広げるダン  
スに、客席の皆様は息をのんで観入っておられました。観る人それぞれの人生経験がそのまま、ダンスを観て湧き出  
す感情につながるような切実な作品でした。終演後実施したアフタートークにも多くの方にご参加いただきました。  
お客様それぞれにとって、公演を観た感想を言葉にする助けとなれば幸いです。

なお前日の2月11日(土)には、康本さんと小倉さんをナビゲーターとしてお迎えし、親子向けのダンスワー  
クショップ「おやこで遊べるからだあそび」も実施いたしました。小さい子どもとその家族が、おうちや旅先で時間が  
空いた時に一緒に楽しめる「からだあそび」を体験しました。親子やご家族が笑顔で楽しむ姿に顔がほころびまし  
た。これからもダンスを通して様々な体験ができる現場をたくさん作っていききたいと思います。





# 芸術文化イベントを探すならコチラもおすすめ

フェニーチェ堺と同じく堺市文化振興財団が運営する、皆様の身近な施設で実施する催しを一部ご紹介。堺市新人演奏会が「堺市新人音楽コンクール」に変わりました。

W S R ★ 及びチケット購入については裏表紙をご覧ください ※都合により、イベント内容が変更になる場合があります。

## 堺市立東文化会館 メインホール

### ワンコイン ジャズピアノコンサート ～平和を祈る曲特集～

5月14日(日) 開演14:00

ピアニストで作曲家でもある竹中真氏のジャズピアノコンサート。毎年恒例の公演。音楽理論に裏打ちされた技術を活かし、今年は何んな音色を奏でるのか、お楽しみに!



ピアノ 竹中真

発売中  
<前売>500円 <当日>700円 全席指定  
主催:堺市立東文化会館 問い合わせ:072-230-0134

W S R 52674 ★

## 堺市立柁文化会館 ホール

### 夏の名画鑑賞会 梅切らぬバカ

6月23日(金) 開演13:30

一緒に笑って、たまに怒って涙して。このありふれた毎日が宝物。あなたがいてくれて、母さんは幸せだよ。出演:加賀まりこ、塚地武雅



©2021「梅切らぬバカ」フィルムプロジェクト

チケット発売日:4月22日(土)  
<前売>500円 <当日>600円 全席指定  
主催:堺市立柁文化会館  
配給:ハピネットファントム・スタジオ  
問い合わせ:072-296-0015

W S R 53495 ★

## フェニーチェ堺 小ホール

### 第52回堺市新人音楽コンクール 出演者募集

【予選】6月3日(土) 【本選】8月13日(日) 開演13:30

昭和47年から歴史を重ねてきた「堺市新人演奏会」は、これまで約900名の若手音楽家が出演し、その多くが堺市内または全国各地で活躍しています。令和5年度からは「堺市新人音楽コンクール」と名称を改め、成績優秀者にはオーケストラとの共演や室内楽での演奏機会に加え、当財団主催または関連事業への出演機会を提供し、本選の演奏会出演後も堺市内外での活動を支援していきます。

対象:ピアノ、声楽、管弦打楽器

【申込期限】5月16日(月) <参加料>【予選】8,000円、【本選】18,000円 ※定員50組(先着)  
主催:公益財団法人堺市文化振興財団 問い合わせ:072-228-0880(平日9:00~17:30)



## 堺 アルフォンス・ミュシャ館

シャンパン、ビスケット、フランス料理——。描かれた至福。

「味覚」にまつわる作品が、ずらりと並ぶミュシャ展です。また香り/音楽/触れる絵でイメージひろがる鑑賞体験も。19世紀末のバリで、ミュシャが腕をふるった美の数々。

どうぞ、「5感」でお召しあがりください。

2023 4.8時 - 7.30時 堺 アルフォンス・ミュシャ館

【開館時間】9:30-17:15(入館は16:30まで) 【休館日】月曜日(休日の場合は開館)、休日の翌日(7/18)、展示替臨時休館日(6/16-6/17) 【観覧料】一般510円/高校・大学生310円/小・中学生100円 【主催】公益財団法人堺市文化振興財団 / 堺 アルフォンス・ミュシャ館(堺市立文化館) 【後援】在堺チェコ共和国名誉領事館 【協力】OGATAコレクション、一般社団法人日本テーブルデザイナー協会、株式会社コードミー、点字・触図工房B.J.、パティスリー レタナセル、レストラン レ・フレール、フェニーチェ堺 ※小学生未満、堺市内にお住まいの満65歳以上の方、障がい者手帳をお持ちの方と介助の方は無料。※20人以上の団体は割引料金適用となります。事前にお問い合わせください。 ※その他各種提携割引制度があります。〒590-0014 大阪府堺市堺区田出井町1-2-200 ベルマーージュ堺式番館(JR堺駅下車徒歩約3分) 【TEL】072-222-5533 【FAX】072-222-6833 【HP】https://mucha.sakai-bunshin.com ミュシャ館HP

新型コロナウイルス感染症拡大防止のための入館条件があります。あらかじめHPで内容をご確認の上で来館ください。本展に関するイベントは、新型コロナウイルス感染拡大状況により、中止・延期する場合があります。あらかじめご了承ください。 ワークショップやギャラリーツアーも開催予定。くわしくはHPで!

### 堺市民芸術文化ホール(フェニーチェ堺)の整備へご寄附いただいた企業の皆様

芸術文化の創造・交流・発信の拠点となるフェニーチェ堺の整備に対し、下記の皆様より堺市あてに寄付をいただきました。そのご芳志に感謝の意を表します。(申込順)

プラチナ芸術文化会会費  
コーナン商事株式会社・堺化学工業株式会社・堺市農業協同組合株式会社クボタ・株式会社シマノ・株式会社 サカイ引越センター株式会社 コノミヤ・EH株式会社・ダイキン工業株式会社 堺製作所 医療法人 邦徳会 邦和病院

ゴールド芸術文化会会費  
前田製菓株式会社・株式会社 ダイネツ・株式会社ニツカトー・堀富商工株式会社 株式会社ハヤシ・泉南乳業株式会社・あさひ不動産株式会社・太陽パーツ株式会社 株式会社芝田化工設計

オフィシャルサポーターA  
大阪信用金庫・株式会社 ツールオカフジ・株式会社 紀陽銀行 株式会社 テックオカフジ・株式会社 ニチエイ・株式会社 東久・大裕興業株式会社 株式会社 つば市製茶本舗・株式会社 リハテック・八文字会計事務所・藤原電機工業株式会社 大阪南農業協同組合・株式会社 アスト中本・要薬品株式会社・浅香工業株式会社・山本石油販売株式会社 向陽エンジニアリング株式会社・株式会社ジェイコムウエスト・株式会社 新川製作所・株式会社 サニコ南 南海鋼材株式会社・株式会社 三響社・丸一鋼管株式会社・株式会社テクノアヤマ まぐろパーク 大起水産株式会社・宇部興産株式会社・池藤織布株式会社・株式会社 加地テック 新日鐵住金株式会社 和歌山製紙所・社会医療法人 啓仁会 堺咲花病院・日新製鋼株式会社 堺製造所 医療法人 淳康会 堺 近森病院・株式会社 羽車・株式会社東陽電気商会・泉都興業株式会社 株式会社サンエス・株式会社和泉利器製作所・株式会社セイケイ 堺製造所・株式会社酒井鉄工所

※その他多くの企業・団体・個人の皆様からご寄附を頂戴しました。

## フェニーチェ堺 大ホール

### フェニーチェ堺ホール体験会2023

受付終了

4月22日(土) 開始時間 ①11:30~ ②15:00~

フェニーチェ堺の大人気企画。オモテとウラを丸ごと見せちゃうホール体験会。今年度から開催日が随時公開になります。ホームページでご確認下さい。

参加費500円  
※大人1人につき小学生以下のお子様1人無料  
※小学生以下のお子様だけの申込みはご遠慮ください。  
主催:フェニーチェ堺



W

## フェニーチェ堺 多目的室

### 和太鼓ワークショップ教室(全8回)

4月19日 必着

4月26日(水)~6月21日(水) 18:00~19:00

堺まつり出場、海外演奏実績のある「堺太鼓」が体験会を実施。和太鼓を基礎から体系的に学べます。無料体験会:4/26、5/10、5/17、5/24、6/7、6/14、6/21 発表会:6/16(大スタジオ)

参加費:無料  
(太鼓バチ代1,900円、保険料800円が別途必要)  
主催:堺太鼓 共催:フェニーチェ堺  
申込方法:フェニーチェ堺ホームページで申込用紙をダウンロードし、記入のうえFAXで送信してください。



FAX 問い合わせ:072-232-8596

## 子どものためのオペラ「まほうのふえ」～パミーナ姫のたんじょうび～ 制作発表記者会見レポート(2月24日 フェニーチェ堺大ホール)

まだ肌寒い2月下旬、メディア関係者を招いて制作発表記者会見を行いました。演出家の菅尾さんも早朝のドイツからオンライン参加、また世界観や楽しさが伝わるように会場を風船アートでいっぱいしたり、指揮者(ピアニスト)の瀬山さんの伴奏でキャストが歌唱しながら登壇したりするなど、作り手のワクワクを丁寧に届ける時間になりました。会見で瀬山さんがおっしゃった「20歳の時、このモーツァルト作曲の愛に溢れる旋律を聴いて号泣した」というエピソードには我々も思わず胸アツ。この素晴らしい感性のアーティスト達が織り成す世界(8/5)に、是非足をお運びください。



## サカイ sacayメイト募集

登録無料 詳しくは sacayメイト 検索

堺市文化振興財団やフェニーチェ堺で取り扱うチケットを便利にご購入いただけるサービスです。



## 4つのsacayメイト特典

- 先行予約 チケットがいち早く予約できる(一部公演を除く)
- WEBチケット購入 どこからでもチケットが買える
- メルマガ配信 最新の公演情報をメールでいち早くお届け
- その他 お得な情報が届くかも?

登録数 48,000人

## フェニーチェ堺・堺市文化振興財団への寄附のお願い

フェニーチェ堺をはじめ堺市文化振興財団をご支援いただく寄附金を募集しております。公益財団法人である当財団への寄附は税制上の優遇措置が受けられます。詳しくはホームページ、又は堺市文化振興財団 総務課までお問い合わせください。 TEL:072-228-0114(平日9:00~17:30) FAX:072-228-0115

## 情報誌設置場所(季刊)

堺市各区役所情報コーナー、文化会館、図書館、その他堺市関係施設。南海線、泉北高速鉄道の主要駅。その他、配布協力施設など。



# 茶

# ふれる堺。



千利休

## 利休さんって いったいどんな人?

### — 千利休逸話 —



昨年「生誕500年」を迎えた茶聖・千利休。

多くの人が知るその生涯ですが、残された逸話には矛盾も多く見られます。なぜ矛盾があるのか？ 利休は時代においてどのような役割を果たしたのか？ さかい利晶の社の学芸員・三好帆南さんにお話を伺いました。

千利休とはどのような人で、堺は彼にとってどのような場所でしたか？

利休は美的感覚とビジネス感覚のバランスを兼ね備えた「ディレクター」的側面を持った人物だったと思います。身の周りのまだ価値がつかないものに光を当て、すでにあるものを他のものに転用する見立てを行い、にじり口や花入などを作り出しました。わび茶以前の茶の湯では、主に唐物と呼ばれる中国から輸入された道具が用いられてきました。中国からやってきた喫茶文化を解釈し、日本の風土を取り込みながら発展させたものがわび茶の世界観です。利休は新しい茶室や茶道具をデザインし、プロデュースも行いました。代表的なものとして、山里の風情を取り込んだ草庵の茶室や樂茶碗など、今でも使われているものが多くあります。

利休が生きた中世の堺は国際貿易で栄え、有力商人らが戦国大名とかけひきをして自治を行う商業都市でした。利休の生家も、倉庫業を営む魚問屋を商っていました。堺という当時の経済・文化の中心地で商人としての教養、交渉力、プレゼン力などを幼少期から培ったのかもしれない。利休の青年期には、海外からやってくる品物や情報を見聞きする機会も多かったと考えられますし、それらの目新しさを面白がる堺の気風に刺激され、独自の審美眼や精神性を育んだことでしょうか。海路と陸路の交通の要衝であり、人ともとの情報が行き交う堺で生まれ育ったからこそ、新しい時代の文化を先導する立役者になったのではないかと考えています。

千利休(1522~1591)は、堺の商家に生まれ、その生涯の大半を堺で過ごしました。堺の豪商・武野紹鷗に茶の湯を習い、織田信長や豊臣秀吉の茶頭として仕え、わび茶を大成しますが、天正19年(1591)2月28日、秀吉によって切腹を命じられ、京都で70歳の生涯を閉じました。

堺というコミュニティの中で、名物茶器を多数所持する茶人の津田宗及(豪商)、今井宗久(政商)らに囲まれ、裕福とは言え、彼らほど茶器を持たない利休はコンプレックスがあったため、国内の茶器を使用し、シンプルな極みの「わび茶」を大成したという意見もありますが？

もちろんそのような個人的背景はあったかもしれませんが、一瞬の出会いに美を見出すわび茶は、時代精神が育んだという見方もできるでしょう。時代精神とは、18世紀後半から19世紀にかけてドイツを中心に生まれた概念ですが、ある時代における芸術文化の特徴的な精神傾向を指します。わび茶は利休以前にも、村田珠光・武野紹鷗らの系譜があり、その他多くの堺の茶人らがわび茶を大成するまでの素地を育んできました。また利休が茶頭として仕えた信長・秀吉は、下克上の世の中で天下人までのぼりつめた人物です。彼らはこれまでの価値観を覆した代表的な人物として活躍した時代には新しい価値を生み出す気運があり、わび茶の世界が生まれたのかもしれない。

京都山科のわび茶人のノ貫(へちかん)は、利休のライバルであり憧れの存在でした。晩年の利休に対しノ貫は、「年々人に対し媚びる態度がみえ、貴人高官に寵愛され過ぎている。人間性も昔と変わり、生涯を名誉や利益を得るために苦しんでいる姿を見ると、哀れに思えてならない」と残していますが、利休は名誉や地位に翻弄されたのでしょうか？(参考文献P293)

利休がわび茶の大成者と呼ばれるのは、わび茶の世界を打ち出し、影響力のある人々に広めていったからです。その中でさまざまな有力者と政治的な関わりを持っていました。わび茶の理想像の二つに、ノ貫のような、道具を持たず清貧で、人里離れた世俗に交わらない姿があげられます。利休が政治の世界と関わりを持ち、為政者のもとでプロデュースを行うことをノ貫は良く思わなかったのかもしれませんが、利休とノ貫は親交があったことが伝えられていますし、茶の湯の志を共有する部分もあったのではないのでしょうか。また利休が卓越したプロデュース力を活かし、わび茶の世界を牽引したおかげで、日本独自の茶の湯文化が今も伝えられているといえるでしょう。

永遠のライバル  
ノ貫との関係性

## 突上窓



突上窓

少庵(利休の息子)が小間の席に突上窓(つきあげまど)を二つ作ると「面白くない、見られたものでない、塞ぎなさい」と散々諷め、その日のうちに一つを塞がせたにもかかわらず、利休が小間の席を建てた時に二つの突上窓を開けていたので、少庵がなぜかと聞いたところ「茶の世界にあっては親も子もない。私が二つの突上窓を開けたから塞がせた」と言った。(参考文献P73)

逸話から  
利休を探る  
話の真意はどこにあるのでしょうか？

息子の手柄を横取りした横暴な話に聞こえるかもしれませんが、逸話はその人物のある側面を断片的に伝えるものです。そのため矛盾と感ずる部分を含めた全体を通して、人物像を捉えていく必要があるかもしれませんね。実は利休が弟子の趣向に惚けた逸話も残されています。当時はまだわび茶の世界が形作られていく過程であり、さまざまな実験とそれに対する批評があり、だんだんと発展していったのだと思います。利休自身もさまざまな人々の創意工夫に刺激されながら、わび茶を探求していったのでしょうか。

突上窓…茶室の化粧屋根裏にかけた天窓。下から木竹の棒で突き上げてあげ、茶室の趣に変化をもたらすとともに、茶室内の採光や換気の役割もはたす。

## 手水鉢の石



この部分の石が、利休は気になった。

利休が朝の茶会を催した際、寒い日であったにも関わらず、外露地に待たせたまましばらく迎えにこなかった。茶会后、なぜお迎えが遅くなったか伺ったところ、「手水鉢の石を置きかねていたうちに遅くなりました」と言ったので、「利休殿ともあろうお方が、前日に直しておくべきものを、客を待たせたまま直すのは、茶の道から外れているではありませんか」と質問すると、「前日に直したときはそれでいいと思ったのですが、今朝露地を回った際、変だと思い置き直しているうちに時間が過ぎてしまいました」「茶の湯というものは、自分の心に納得できないことを、客に見せるものではありません。客の機嫌を損じたとしても、すっきりとした気持ちで迎えられることも大切だと思います」と言った。(参考文献P163)

利休七則にも事前の準備を入念に行う大切さが説かれていることから、客を待たせるこの逸話には矛盾を感じるかもしれません。ただし事前に準備を行った上で、自分の心に従い、客のもてなしに徹する大切さを説いた逸話のようでもあります。茶会の演劇的要素に言及されることが度々ありますが、茶会はライブそのものですね。利休は一步引いて客観視する「プロデューサー」としての顔を持ちつつ、一方で茶会を作る亭主としての違った顔も持っていました。細部を作り込む作り手として、臨機応変に振る舞う大切さが伝えられたものに感じます。

利休をより深く知りたければ、ぜひこちらへ！

さかい利晶の社

〒590-0958 大阪府堺市堺区宿院町西2丁1-1 TEL:072-260-4386 FAX:072-260-4725  
千利休茶の湯館、与謝野晶子記念館、観光案内展示室:9:00~18:00(入館は17:30まで)  
茶の湯体験施設:10:00~17:00(入席は16:40まで)

<参考文献> 筒井絢一「利休の逸話」(淡交社)2013

イラスト:一色美奈保